



浪花屋製菓の柿の種を題材にしたCMを企画する葵高等学院の生徒。アオーレ長岡

「葵高等学院」長岡・新潟校の生徒 地元企業PR CM作り挑戦

来月上映会、ネット公開へ

通信制高校の学習をサポートする施設「葵高等学院」の長岡校、新潟校の生徒が、地域貢献活動の一環として、長岡市の企業の商品制作をPRするCM制作に取り組んでいる。企画から撮影まで一環して自分たちで手掛ける。完成後は同学院の公式サイトなどで公開する予定だ。

同学院は葵学園(長岡市)が運営。2011年から、米百俵まつりでパンケーキ店を出店したり、県内企業と商品開発に挑戦したりし

て、キャリア教育に力を入れてきている。

今回は浪花屋製菓(撰田屋町)の「柿の種」のCMを制作することにした。両校の1〜3年生計約60人が4班に分かれて4本のCMを作る。10月初旬に上映会を開いて企業側から1本を選んでもらい、インターネットで公開する予定。

アオーレ長岡で11日に行った2回目の活動では、班ごとにCMのテーマやシナリオ、撮影場所などについて話し合った。メインの販

売ターゲットを若者に設定し、高校生のカップルを出演させるなど、さまざまな案が出た。

長岡校1年の石神愛さん(15)は「企業のニーズに答えられるCMを作れるよう頑張りたい」と話した。

雪をテーマに研究「まちなか大学院」
来月から、全10回

まちなかキャンパス長岡(長岡市大手通2)は10月から、全10回の市民講座「まちなか大学院」を開く。今年度は「雪氷研究の最前線から考える」と題し、雪による災害や産業での雪の活用